

製品名: ダフィーウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10192**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	DARC
別名	DARC; FY; GPD; Duffy antigen/chemokine receptor; Fy glycoprotein; GpFy; Glycoprotein D; Plasmodium vivax receptor; CD antigen CD234
遺伝子 ID	2532.0
SwissProt ID	Q16570
免疫原	抗血清はヒト DARC 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

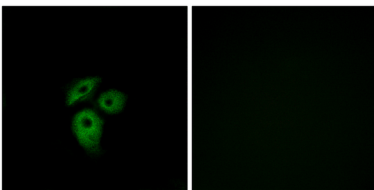
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、糖化膜タンパク質であり、いくつかのケモカインの非特異的受容体です。コードさ

れているタンパク質は、ヒトマラリア原虫である三日熱マラリア原虫（*Plasmodium vivax*）およびノレシマラリア原虫（*Plasmodium knowlesi*）の受容体です。この遺伝子の多型は、ダフィー血液型システムの基礎となっています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：ダフィー抗原（FY(A-B-））を産生しない個体は、三日熱マラリアに対する抵抗力がより強い。この対立遺伝子は、主にアフリカ起源の集団に見られる。機能：IL-8、GRO、RANTES、MCP-1、TARC など、多くのケモカインの非特異的受容体。また、ヒトマラリア原虫である三日熱マラリア原虫（*Plasmodium vivax*）およびマラリアノックアウトマラリア（*Plasmodium knowlesi*）の受容体でもある。オンライン情報：血液型抗原遺伝子変異データベース、オンライン情報：ダフィー抗原エントリ、多型：DARC はダフィー血液型システムを担っている。Fy(A)=Fy1/Fy(B)=Fy2 血液型抗原の分子的基盤は、位置 42 の単一の変異である。グリシン 42 は Fy(A)に、アスパラギン 42 は Fy(B)に対応する。多型：DARC の遺伝的変異は、白血球数定量的形質遺伝子座 1 型（WBCQ1）[MIM:611862]と関連している。末梢血白血球数（WBC）は、急性炎症または感染症の証拠を判断するために用いられる一般的な臨床測定値である。末梢血白血球（WBC）は、最も一般的な WBC である好中球とリンパ球に加え、好酸球、好塩基球、単球などのあまり一般的ではない細胞型を含む複数の細胞型の総和です。WBC の上昇は、冠動脈性心疾患、癌、全死亡率のリスクと関連付けられています。白血球レベルは、化学療法を受けている患者の評価や感染症の評価など、幅広い臨床用途があります。類似性：G タンパク質共役受容体 Duffy ファミリーに属します。組織特異性：成人の腎臓、成人の脾臓、骨髄、胎児の肝臓に見られます。特に、成人の肝臓を除く全身の毛細血管後細静脈に沿って発現しています。赤血球系細胞と毛細血管後細静脈の内皮が、Duffy を発現する主要な組織です。Fy(-A-B) 個体は骨髄ではダフィーを発現しないが、後毛細血管後細静脈内皮では発現する。

研究分野

画像データ



CD234 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。